

頑張れ！水泳学習

校長 米村 圭史

6月に入り、いよいよ夏の訪れを感じる季節となりました。学校では、プール開きがあり、毎年恒例の水泳の練習が始まりました。子供たちが色とりどりの水泳帽をかぶり、水着でプールに向かう姿やプールで水しぶきを上げながら元気に泳ぐ姿を見ると、私たち教職員も自然と笑顔になります。



水泳の練習は、ただ泳ぎを学ぶだけでなく、子供たちにとって大切な成長の場でもあります。初めてプールに入る子供、少しずつ泳げるようになる子供、そして自信を持って泳ぐ子供、それぞれが自分のペースで挑戦し、短期間で成長していく姿は本当に感動的です。

自分は小学校1年生の時、父親との猛特訓で泳げるようになりました。父がプールで泳ぐ姿を見て「カッコいい！」と思ったのがきっかけです。今やると怒られると思いますが、指宿の温泉の露天風呂で、湯桶をビート板代わりにして水（お湯？）に浮く練習をしました。他のお客さんも居たと思うのですが、2人で何回も何回もチャレンジした結果、浮けるようになり、自信を持って小学校の水泳学習に向かいました。

自分が教師になって指導をするようになってから印象的だったのは、ある児童が初めて25メートルを泳ぎ切った瞬間です。彼は最初、プールの端にしがみついていたのですが、毎回の練習で友達や他の先生の励ましを受けて、少しずつ少しずつ前に進みました。彼はあきらめる事なく、練習を頑張りました。そして、7月、今日が最後の水泳学習という時に、ついに25メートル泳ぎ切りました。遠く感じていた25メートル先の壁が自分の物となった瞬間でした。ゴールにたどり着いたときの彼のまぶしい笑顔は、忘れられないものとなりました。

別の児童が水に対する恐怖心を克服する過程も感動的でした。彼は最初、水に顔をつけることすら怖がっていましたが、毎日の練習を通じて少しずつ慣れていきました。ある日、彼が自ら進んで水に飛び込んで、けのびをした瞬間、プールサイドにいた全員が拍手を送りました。その瞬間、彼の目には涙が浮かんでいましたが、それは喜びと達成感の涙でした。プールの水は子供たちにとって最初は冷たくて、重く、自分に厳しい物に感じるのですが、練習を重ねるにつれてだんだんと水は軟らかく、軽く、優しい物に変わっていくのです。

このような経験を通じて、子供たちは「挑戦することの大切さ」や「仲間と支え合うことの喜び」を学んでいます。私たち教職員も、彼らの成長を見守り、共に喜びを分かち合えることを誇りに思います。水泳指導は子供たちの成長の過程をはっきりと感じられる瞬間の連続だからです。

これからも、子供たちが安心して挑戦できる環境を整え、彼らの成長を全力でサポートしていきます。

修学旅行

最高の思い出！修学旅行



6月3日～5日は5年生の修学旅行でした。1日目が指宿方面、2・3日目が鹿児島市での活動でした。出発の前から、鹿児島市での自主研修の時間にどこに行こうか、何を食べようか、どんな買い物をしようかと時間をかけて準備をしていたようです。その計画通りに活動もうまくいったようで、お小遣いと相談しながら本当に楽しい時間を過ごすことが出来たようです。一緒に行った納官小、岩岡小のみんなとも仲良くなったようで、楽しい修学旅行は小学校生活としても最高の思い出になりました。



楽しかったね！一日遠足



6月6日は1～4年生の一日遠足でした。まずは学校の前の雄龍雌龍岩周辺で水遊びをしました。魚や貝、かになどを見つけて、びしょ濡れになりながら楽しく遊びました。龍星館をお借りしてお弁当を食べ、学校に戻ってからタブレットを使った鬼ごっこなどをして遊び、楽しい楽しい1日になりました。



7月

の行事

1日(火) 水泳学習授業参観～11日
9日(水) キャリアフェスタ(5年)

10日(木)

学級PTA・学校保健委員会
家庭教育学級

18日(金)

1学期終業式

PTAコーナー あらさき



風水害時における引渡訓練

6月14日(土)には、台風などの風水害を想定した引渡訓練を行いました。これは、万が一、風雨が強すぎたり、土砂災害のおそれがあると考えたりしたとき、保護者に連絡をして乗用車で迎えに来ていただくという訓練です。保護者の皆様がしっかり理解をしていたおかげで、事前に連絡していたとおりの方法で、大変スムーズな引渡ができました。



